

大榎

大榎町大榎の町子ども教育センター「OL

AI」（小石敦子センター長）で27日、木工ワークショップが開かれ、夏休み子どもたちが夢中になって手を動かし、木材に親しんだ。

同センターに通う大榎学園の2、6年生約30人が参加。町産のスギ材にやすりをかけるなどし、3種類のベンチ計12脚を丁寧に組み立てた。

木工の夏

児童がベンチ作り

鈴木理央君（4年）は「ベンチを作るのは初めて。みんなと協力して作れたので楽しかった」と汗を拭った。

ワークショップは、町と震災復興に関する協定を結んだ秋田県立大木材高度加工研究所、釜石地方森林組合が連携して開催。同大はこれまで仮設住宅の歩道橋整備などを行ってきたが、児童の夏休みに合わせ、初めてワークショップを開いた。



町産のスギ材を使ったベンチ作りに取り組む子どもたち